

平成29年度 行政評価の取組結果(建設局)

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善															
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)					H29年度		H28年度		H27年度		H29年度			H31年度予算要求に向けた施策の方向性								
					指標名等	現状値(基準値)	H28年度	H29年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価		局施策評価の理由及び課題							
I-1-(1)-⑥ 地域などと行政の連携・協働による子育て支援の推進	1	地域に役立つ公園づくり事業	みどり・園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	目標	18	公園	20	公園	—	136,000	103,866	188,056	6,825	課長	0.05	人	順調	計画通り2校区でワークショップを開催でき、整備公園数も目標を上回ったため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 地域と行政が連携して魅力ある公園づくりを推進するため、整備の前にワークショップを行うなど、地域のニーズを反映させるための取り組みを推進している。 計画通りに実施できており「順調」と判断。 【課題】 地域と行政が連携した魅力ある公園づくりを更に推進する必要がある。	今後も継続して地域と行政が連携し、魅力ある公園づくりに取り組む。				
						実績	22	公園	23	公園						達成率	122.2 %							115.0 %	係長	0.10	人
						達成率	122.2 %	115.0 %	職員	0.70						人											
I-3-(1)-② 教育関係施設との連携による人材育成	2	【施策評価のみ】 到津の森公園による学習プログラムの提供	公園管理課	【施策の内容】 小学生を対象とした、動物や自然とのふれあいを通じて命の大切さや自然環境の保護の必要性を学ぶプログラムの提供	【施策の指標】 「市民環境力」を高め、環境保全に対する意識が高まった状態	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	課長	—	人	—	—	—	順調	【評価理由】 遠足等で到津の森公園を訪れる小学生に対し、学習プログラムの提供を継続している。 環境保全意識向上の機会を提供できており「順調」と判断。 【課題】 環境保全意識向上の機会を提供できており「順調」と判断。	今後も継続して小学生への学習プログラムを提供する。				
						実績	—	—	—						達成率	—								—	係長	—	人
						達成率	—	—	職員						—	人											
II-1-(4)-④ 総合的な災害対策の推進	3	河川改修事業の推進	水環境課	近年、ゲリラ豪雨や都市化の進展に起因する浸水被害が増加している。浸水被害を抑制するため、治水事業の根幹となる河川改修を推進する。	浸水被害の低減	目標	—	—	H45年度に河川毎に計画している降雨(1時間で50~70mm程度)に対応できる状態	1,676,330	2,494,475	2,652,009	86,500	課長	1.00	人	順調	河川整備率(目標:85%、実績:85%)が目標に達したため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 頻発する局地的豪雨などによる浸水被害を抑制するため、計画的に河川の整備を推進している。 概ね予定通りに事業を推進できており「順調」と判断。 【課題】 計画的に河川整備を進める必要がある。	今後も継続して治水事業の根幹となる河川整備を推進する。						
						実績	—	—						達成率	—							—	係長	1.50	人		
						達成率	—	—						職員	8.00							人					
	4	巨過地区まちづくりに伴う河川整備事業	神嶽川巨過地区整備室	長年市民に親しまれている巨過市場をさらに魅力ある商業拠点と協働で巨過地区まちづくり整備計画を策定し、神嶽川の治水安全度を高める、河川事業を推進する。	神嶽川(巨過地区)の治水安全度向上	目標	—	—	概ね50年に一度発生する降雨にも対応できる降雨(巨過地区)の治水安全度向上	326,000	335,119	522,390	23,250	課長	0.50	人	順調	平成30年度の事業着手に向け地元関係者との協議を推進できた。また、河川改修についても計画通りに整備を進めることができたため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 頻発する局地的豪雨などによる浸水被害を抑制するため、計画的に河川の整備を推進している。 概ね予定通りに事業を推進できており「順調」と判断。 【課題】 計画的に河川整備を進める必要がある。	今後も継続して治水事業の根幹となる河川整備を推進する。						
						実績	—	—						達成率	—							—	係長	1.00	人		
						達成率	—	—						職員	1.00							人					
II-2-(3)-④ 個人の健康づくりを支える環境の整備	5	健康づくりを支援する公園等整備事業	緑政課	公園に高齢者の健康増進に配慮した健康遊具を設置し、運動教室を開催して、利用者に使い方を説明する。 継続的にこの健康遊具を利用することにより、高齢者の体力増進に繋げる。 また、ウォーキングを通じた健康づくりをサポートする路面表示などを実施する。	高齢者に配慮した健康遊具の設置公園数	目標	1	公園	2	公園	—	18,000	20,967	10,726	3,650	課長	0.10	人	順調	計画通りの公園数を整備出来ており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高齢者の健康づくりに資する、身近な公園における健康遊具の設置を計画通りに進めることが出来ており「順調」と判断。 【課題】 高齢者の健康づくりを促進するため、環境整備を更に推進する必要がある。	今後も継続して高齢者の健康づくりに資する環境整備に取り組む。				
						実績	1	公園	2	公園						達成率	100.0 %							100.0 %	係長	0.10	人
						達成率	100.0 %	100.0 %	職員	0.20						人											

平成29年度 行政評価の取組結果(建設局)

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)				H29年度		H28年度		人件費 (目安)		H29年度				H31年度予算要求に向けた 施策の方向性
					指標名等	現状値 (基準値)	H28年度	H29年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業 評価	評価の理由	局施策 評価	
Ⅲ-1- (1)-③ まち美化 活動の拡 充	6	ボランティア ネットワークの 推進 (道路サ ポーター)	道路 計画 課	市が維持及び管理す る道路において、道路 清掃・美化などのボラ ンティア活動を行う地 域の団体を対象に、清 掃用具や花苗の支給な どにより支援する。	道路サポーター加 入団体数	—	目標 216 団体 218 団体	222 団体 227 団体	220団体 (H30年度)	17,810	16,481	15,240	9,400	課 長 0.05 人 係 長 0.17 人 職 員 0.95 人	順調	高齢化や担い手不足によ り、登録を解除する団体もあ るものの、登録団体数は増加 しており「順調」と判断。			
	7	ボランティア ネットワークの 推進 (公園愛護 会)	公園 管理 課	10名程度の地域住民 で組織されるボラン ティア団体で、公園の 美化活動・公園施設の 点検や禁止行為の連 絡・公園利用者のマ ナーづくり・市民花壇 づくりなどを行い、活 動面積に応じて活動費 を助成している。	公園愛護会の結成 数	—	目標 1,160 団体 1,160 団体	1,190 団体 1,183 団体	1,160団体 (毎年度)	46,062	45,386	45,565	18,135	課 長 0.24 人 係 長 0.45 人 職 員 1.45 人	順調	会員の減少や高齢化により 解散する団体もあるものの、 全体としては目標の団体数を 達成できており「順調」と判 断。	順調	【評価理由】 高齢化等の理由により解散 する団体もある一方で、新た に結成された団体もあり、団 体数としては概ね目標を達成 できており「順調」と判断。 【課題】 団体数の増加・維持に向け た取り組みを推進する必要が ある。	今後も既存団体の支援や団 体数の増加・維持に取り組 む。
	8	ボランティア ネットワークの 推進 (河川愛護 団体)	水環 境課	地域の住民で構成す る河川愛護団体に清掃 道具購入の費用等とな る補助金を交付するこ とにより、美化活動を 広げる。また、美化活 動に参加することによ り、地域の河川を身近 に感じ、自分たちの川 として愛着を持つよう な啓発活動へとつなげ る。	河川愛護団体数	—	目標 70 団体 71 団体	65 団体 64 団体	72団体 (H30年度)	2,350	2,250	2,310	440	課 長 0.01 人 係 長 0.01 人 職 員 0.03 人	順調	高齢化や後継者不足等によ り活動の継続が困難な団体も あるものの、新規に結成され た団体もあり目標に近い団体 数が活動しており「順調」と 判断。			
Ⅲ-1- (2)-① 魅力ある 生活空間 づくり	9	「花やみどり」 による彩りと潤 いのあるまちづ くり	緑政 課	都市景観の向上と潤 いのある街づくりを目 指し、花壇 (公共花 壇) の整備を行うと共 に、市民花壇やスポ ンサー花壇、うえるっ ちゃ!花壇といった、 市民ボランティアや企 業、団体と一体となっ て美しく快適なまちづ くりを推進する。	市民花壇活動団体 数	570団体 (H27年度)	目標 592 団体 601 団体 実績 566 団体 571 団体 達成率 95.6 % 95.0 %	628団体 (H32年度)	55,550	44,408	123,790	23,150	課 長 0.10 人 係 長 0.70 人 職 員 2.00 人	順調	市民花壇活動団体数は、目 標にこそ達していないものの 増加傾向を維持しているため 「順調」と判断。				
	10	地域に役立つ公 園づくり事業	みど り・公園 整備 課	身近な公園の再整備 について、小学校区単 位で開催するワーク ショップで地域住民の 意見を聞き、地域ニー ズを反映した公園整備 を行うことで、これまで 以上に利用される公 園を目指す。 計画段階から地域住 民が参加することで公 園への愛着を高め、地 域活動など公園利用の 活性化につなげる。計 画策定後は、翌年から 概ね2カ年で再整備を 行う。	地域に役立つ公園 づくり事業による 整備公園数	—	目標 18 公園 20 公園 実績 22 公園 23 公園 達成率 122.2 % 115.0 %	—	136,000	103,866	188,056	6,825	課 長 0.05 人 係 長 0.10 人 職 員 0.70 人	順調	計画通り2校区でワーク ショップを開催でき、整備公 園数も目標を上回ったため 「順調」と判断。	順調	【評価理由】 魅力ある生活空間をつくる ため、街かどの花壇整備や地 域のニーズを反映した公園づ くりを推進している。 市民花壇活動団体は増加傾 向にあり、市民ボランティア 等との共同は着実に推進出来 ている。 また、地域のニーズを反映 した公園整備についても計画 に沿って進捗しており「順 調」と判断。 【課題】 高齢化社会が進む中で市民 花壇活動団体数の増加・維持 を図る必要がある。	今後も継続して、街かどの 花壇整備や地域ニーズを反映 した公園整備など、魅力ある 生活空間づくりに取り組む。	

平成29年度 行政評価の取組結果(建設局)

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)				H29年度		H28年度		人件費(目安)		H29年度				H31年度予算要求に向けた施策の方向性	
					指標名等	現状値(基準値)	H28年度	H29年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価		局施策評価の理由及び課題
Ⅲ-1-(2)-③ 市民に親しまれる水際線・農山村風景づくり	11	身近に自然を感じる河川整備事業	水環境課	都市内に唯一残された貴重な自然空間である河川を、水際の植生や自然な流れの復元などにより、生物の生息・生育環境に配慮した整備を行うことにより、ホタルの飛翔や緑の増加など、身近に自然を感じる水辺環境整備事業を行っている。	環境に配慮した護岸整備	目標	—	—	生態系に配慮した整備を行うことにより、身近に感じる状態	273,000	529,800	372,500	25,750	課長	0.50	順調	環境に配慮した護岸整備延長(目標:35,400m、実績:35,900m)を計画通り進めることができたため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民に親しまれる水際線づくりを進めるため、環境に配慮した護岸整備を計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】 治水と環境のバランスに配慮して事業を推進する必要がある。	今後とも限られた敷地で、最大限生態系に配慮した整備を推進する。
						実績	—	—						係長	0.50					
						達成率	—	—						職員	2.00					
Ⅲ-1-(3)-② 安心して通行できる身近な道路の整備	12	バリアフリーのまちづくり	道路課	高齢者や障害者など、誰もが安全で快適に通行できるよう、バリアフリーのまちづくりを進める。具体的には、歩道の新設や拡幅、段差解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を行う。	主要駅周辺地区の主要経路の整備率	目標	91%	91%	95%(H30年度)	871,500	1,082,154	849,665	26,150	課長	0.10	順調	関係団体と協議を行いながら、概ね計画通りに整備を進めることが出来ており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 関係団体と協議しながら、通学路の改善要望対応や、子どもから高齢者まで誰もが安心して通行できる環境整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】 バリアフリーの道路整備等のハード面の整備を推進するとともに、取り組みの周知等のソフト面の施策の充実も図る必要がある。	今後とも誰もが安全で快適に通行できる環境の整備を推進する。
						実績	90%	90%						係長	1.00					
						達成率	98.9%	98.9%						職員	2.00					
	13	通学路の安全対策	道路課	登下校中の児童が交通事故に巻き込まれず、安全に安心して通学できる環境を整える学友会、教育委員会や学校関係者、警察と一体となって、さらなる通学路の安全対策を推進する。	通学路の危険箇所における対策完了箇所数	目標	—	—	—	874,000	1,297,124	763,089	26,150	課長	0.10	順調	「北九州市通学路安全プログラム」に基づき、道路管理者や警察、学校関係者が連携して通学路の安全対策を実施しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 都心のぎわいづくりに資する小倉駅南北公共連絡通路の整備、及び旦過地区のまちづくりに伴う河川整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】 取り組みを継続する必要がある。	今後とも計画的に事業を進める。
						実績	185箇所	145箇所						係長	1.00					
						達成率	—	—						職員	2.00					
V-1-(2)-① 都心のぎわいづくり	14	小倉駅・黒崎駅前の賑わいづくりの推進	道路課	北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を行い、まちの賑わいを推進する。	歩いてみたくなる歩行空間を創出	目標	—	—	歩いてみたくなる歩行空間の創出	880,000	1,407,600	1,352,974	61,500	課長	1.00	順調	小倉駅南北公共連絡通路のリニューアルが、概ね計画通りに進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 都心のぎわいづくりに資する小倉駅南北公共連絡通路の整備、及び旦過地区のまちづくりに伴う河川整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】 取り組みを継続する必要がある。	今後とも計画的に事業を進める。
						実績	—	—						係長	2.00					
						達成率	—	—						職員	4.00					
15	旦過地区まちづくりに伴う河川整備事業	神嶽川旦過地区整備室	長年市民に親しまれている旦過市場をさらに魅力的にするために、地元と協働で旦過地区まちづくり整備計画を策定し、神嶽川の治水安全度を高める、河川事業を推進する。	神嶽川(旦過地区)の治水安全度向上	目標	—	—	概ね50年に一度発生する降雨にも対応できるよう、神嶽川(旦過地区)の治水安全度向上	326,000	335,119	522,390	23,250	課長	0.50	順調	平成30年度の事業着手に向け地元関係者との協議を推進できた。また、河川改修についても計画通りに整備を進捗できたため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 都心のぎわいづくりに資する小倉駅南北公共連絡通路の整備、及び旦過地区のまちづくりに伴う河川整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】 取り組みを継続する必要がある。	今後とも計画的に事業を進める。	
					実績	—	—						係長	1.00						
					達成率	—	—						職員	1.00						

平成29年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)					H29年度		H28年度		人件費(目安)		H29年度				H31年度予算要求に向けた施策の方向性
					指標名等	現状値(基準値)	H28年度	H29年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由及び課題	
V-1-(2)-②文化・交流、居住機能を重視した副都心づくり	16	小倉駅・黒崎駅前の賑わいづくりの推進	道路計画課	北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を行い、まちの賑わいを推進する。	黒崎駅南北自由通路利用者数	目標	—	—	6,500人/日(H30年度)	880,000	1,407,600	1,352,974	61,500	課長	1.00人	順調	黒崎駅南北自由通路、黒崎駅前ペDESTリアンデッキループの整備が、概ね計画通りに進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前における、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を概ね計画通りに推進できており「順調」と判断。 【課題】取り組みを継続する必要がある。	今後とも計画的に事業を進める。
						実績	—	—						係長	2.00人					
						達成率	—	—						職員	4.00人					
V-2-(2)-①広域物流ネットワークの強化	17	自動車専用道路ネットワークの整備	道路計画課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	目標	—	—	13分(H39年度)	1,500,000	1,557,261	3,729,482	69,000	課長	1.00人	順調	戸畑枝光線の整備が、概ね計画通りに進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】広域物流ネットワークの強化に向けた交通網の整備を実施している。戸畑枝光線をはじめとした主要な道路の整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】取り組みを継続する必要がある。	今後とも計画的に道路整備を進める。
						実績	—	—						係長	2.00人					
						達成率	—	—						職員	5.00人					
	18	主要な道路の整備(恒見朽網線など)	道路計画課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州空港間の所要時間	目標	—	—	28分(H37年度)	5,279,564	6,425,581	4,557,726	217,250	課長	3.00人	順調	概ね計画通りに進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】市民の交通便利性の向上と産業活動の支援を実施している。戸畑枝光線をはじめとした主要な道路の整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】取り組みを継続する必要がある。	今後とも計画的に道路整備を進める。
						実績	—	—						係長	6.50人					
						達成率	—	—						職員	15.70人					
V-2-(2)-②市民の交通便利性の向上と産業活動の支援	19	自動車専用道路ネットワークの整備	道路計画課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	目標	—	—	13分(H39年度)	1,500,000	1,557,261	3,729,482	69,000	課長	1.00人	順調	戸畑枝光線の整備が、概ね計画通りに進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】市民の交通便利性の向上と産業活動の支援を実施している。戸畑枝光線をはじめとした主要な道路の整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】取り組みを継続する必要がある。	今後とも計画的に道路整備を進める。
						実績	—	—						係長	2.00人					
						達成率	—	—						職員	5.00人					
	20	主要な道路の整備(恒見朽網線など)	道路計画課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州空港間の所要時間	目標	—	—	28分(H37年度)	5,279,564	6,425,581	4,557,726	217,250	課長	3.00人	順調	概ね計画通りに進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】市民の交通便利性の向上と産業活動の支援を実施している。戸畑枝光線をはじめとした主要な道路の整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】取り組みを継続する必要がある。	今後とも計画的に道路整備を進める。
						実績	—	—						係長	6.50人					
						達成率	—	—						職員	15.70人					

平成29年度 行政評価の取組結果(建設局)

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施							【Check】 評価 / 【Action】 改善																	
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)				H29年度		H28年度		H27年度		H26年度		H31年度予算要求に向けた施策の方向性									
					指標名等	現状値(基準値)	H28年度	H29年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価		評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由及び課題						
V-3-(1)-② 都市基盤・施設の適正な維持管理	21	都市モノレール長寿命化事業(道路・街路)	道路維持課	北九州モノレールは、昭和60年に開業後、約30年が経過しており、軌道桁やそれを支える支柱等について、経年的な劣化が見られる。このため、劣化対策(耐震対策も含む)を行い、桁や支柱等、構造物の長寿命化や維持管理費の縮減を図り、市民の重要な交通機関であるモノレールの安全性・信頼性の確保を図る。	インフラ構造物の長寿命化を実施することで、モノレールの安全・安心な運行を確保	目標	—	—	完了(H33年度)	677,750	740,850	913,857	57,375	課長	0.75 人	順調	桁や支柱等の長寿命化に向けた取り組みを概ね計画通りに進捗出来ており「順調」と判断。	【評価理由】 モノレール、橋梁、トンネル等の都市基盤の長寿命化を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】 引き続き計画的に長寿命化を実施する必要がある。	今後もし引き続き計画に従って長寿命化を推進する。							
						実績	—	—						達成率	—					—	係長	1.50 人				
	22	橋梁・トンネルの長寿命化への計画的な取り組み	道路維持課	市内には、約2,000の橋梁と39本のトンネルがあり、高齢化・老朽化の進展が懸念されている。そこで、従来の対症療法型補修を改め、予防保全型に移行するため、「北九州市橋梁長寿命化修繕計画」(H22.3)及び「北九州市トンネル長寿命化修繕計画」(H25.2)を策定した。本事業は、この計画をもとに、予防保全が有効な状態である健全度Ⅲ以上の橋梁とトンネルを増加させることで市民の安全・安心を確保する。	主要橋梁の健全度向上による市民の安全・安心の確保	目標	—	—	全主要橋梁の健全度Ⅲ以上(H31年度)	1,480,000	1,432,735	1,508,891	100,150	課長	1.10 人	順調	橋梁、トンネルのリニューアルについては、概ね計画通り(目標:11箇所、実績:10箇所)に進捗しており「順調」と判断。	【評価理由】 モノレール、橋梁、トンネル等の都市基盤の長寿命化を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】 引き続き計画的に長寿命化を実施する必要がある。	今後もし引き続き計画に従って長寿命化を推進する。							
						実績	—	—						達成率	—					—	係長	2.00 人				
				トンネルの健全度向上による市民の安全・安心の確保	目標	—	—	全トンネルの健全度Ⅲ以上(H33年度)					職員	9.00 人												
					実績	—	—						達成率	—					—	職員	9.00 人					
VI-1-(2)-② あらゆる主体による環境政策への参加の推進	23	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	目標	2,000 人	2,000 人	2,000人(毎年度)	2,674	2,674	2,674	1,120	課長	0.03 人	順調	農業体験教室の実施回数は45回と目標の50回には満たなかったものの、目標を上回る参加者数があり「順調」と判断。	【評価理由】 農業体験を通じた環境政策への市民参加を推進している。多くの機会を提供し、目標以上の多くの市民の参加を得られており「順調」と判断。 【課題】 今後も継続して実施する必要がある。	今後もし継続して農業体験教室を実施する。							
						実績	2,440 人	2,260 人						達成率	122.0 %					113.0 %	係長	0.04 人				
						職員	0.05 人																			
VI-2-(1)-③ 総合的な緑化・森林整備の実施	24	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇(公共花壇)の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ!花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数	目標	570団体(H27年度)	601 団体	628団体(H32年度)	55,550	44,060	123,790	23,150	課長	0.10 人	順調	市民花壇活動団体数は、目標にこそ達していないものの増加傾向を維持しているため「順調」と判断。	【評価理由】 市民花壇活動団体数は増加傾向にあり、市民ボランティアとの協働は着実に推進出来ているため「順調」と判断。 【課題】 今後も継続して実施する必要がある。	今後もし継続して市民との協働や街かどの整備など、総合的な緑化を推進する。							
						実績	566 団体	571 団体						達成率	95.6 %					95.0 %	係長	0.70 人				
						目標	3,000 ㎡	—						—	55,550					44,060	123,790	23,150	課長	0.70 人		
						実績	5,584 ㎡	—																	職員	2.00 人
						達成率	186.1 %	—																		

平成29年度 行政評価の取組結果(建設局)

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施							【Check】 評価 / 【Action】 改善																								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)				H29年度		H28年度		人件費(目安)		H29年度				H31年度予算要求に向けた施策の方向性														
					指標名等	現状値(基準値)	H28年度	H29年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価		局施策評価の理由及び課題													
VI-4-(1)-② 身近に自然を感じる都市づくり	25	身近に自然を感じる河川整備事業	水環境課	都市内に唯一残された貴重な自然空間である河川を、水際の植生や自然な流れの復元などにより、生物の生息・生育環境に配慮した整備を行うことによって、ホタルの飛翔や緑の増加など、身近に自然を感じる水辺環境整備事業を行っている。	環境に配慮した護岸整備	目標	—	—	生態系に配慮した整備を行うことで、自然を感じる状態	273,000	529,800	372,500	25,750	課長	0.50	順調	環境に配慮した護岸整備延長(目標:35,400m、実績:35,900m)を計画通り進めることができたため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民に親しまれる水際線づくりを進めるため、環境に配慮した護岸整備を計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】 治水と環境のバランスに配慮して事業を推進する必要がある。	今後とも限られた敷地で、最大限生態系に配慮した整備を推進する。													
						実績	—	—						係長	0.50																		
						達成率	—	—						職員	2.00																		
VI-4-(1)-③ 市民と自然とのふれあいの推進	26	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを指し、花壇(公共花壇)の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ!花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数	目標	592 団体	601 団体	628団体(H32年度)	55,550	44,060	123,790	23,150	課長	0.10	順調	市民花壇活動団体数は、目標にこそ達していないものの増加傾向を維持しているため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民花壇活動団体数は増加傾向にあり、市民ボランティアとの協働は着実に推進出来ている。 また、農業体験教室にも目標以上の多くの市民の参加を得られており「順調」と判断。 【課題】 今後も市民花壇活動団体数の増加・維持を図る必要がある。	今後とも継続して街かどの花壇整備や農業体験教室など、市民が自然に触れ合う場や機会の提供を推進する。													
						実績	566 団体	571 団体						係長	0.70																		
						達成率	95.6 %	95.0 %						職員	2.00																		
						特別緑地保全地区の買収面積	目標	3,000 m ²							—						2,674	2,674	2,674	1,120	課長	0.03	順調	農業体験教室の実施回数は45回と目標の50回には満たなかったものの、目標を上回る参加者数があり「順調」と判断。	順調	【評価理由】 東九州自動車道沿線の自治体と協力しながら、国に対して整備活動の要望を行っており「順調」と判断。	今後とも沿線自治体と協力・連携して要望活動に取り組む。		
							実績	5,584 m ²																								係長	0.04
							達成率	186.1 %																								職員	0.05
VII-3-(2)-① 東九州地域との連携	28	【施策評価のみ】東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	道路計画課	【施策の内容】東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	【施策の指標】東九州自動車道の建設促進	目標	—	—	東九州自動車道の建設促進	—	—	—	—	課長	—	—	—	—	—														
						実績	—	—						係長	—																		
						達成率	—	—						職員	—																		